厚生労働大臣の定める掲示事項

（2026年10月1日現在）

○保険外負担に関する事項

当院で保険外負担として、実費でのご負担となる内容は以下のとおりです。

Ⅰ）特別療養環境室料・選定療養費等

内 容		単 位	金 額	備 考
初診の選定療養費			7,700円（税込）	
再診の選定療養費			3,300円（税込）	
時間外の選定療養費			7,700円（税込）	
テレビ・ラジオ・冷蔵庫セット使用料		1日につき	440円（税込）	
テレビ・ラジオ使用料		1日につき	330円（税込）	
冷蔵庫使用料		1日につき	220円（税込）	
病衣・タオル・バスタオルセット使用料		1日につき	220円（税込）	
病衣使用料		1日につき	110円（税込）	
タオル使用料		1日につき	110円（税込）	
バスタオル使用料		1日につき	110円（税込）	
個人下着類の洗濯管理料		1回につき	330円（税込）	
電話通話料		時間（分）	内訳）国内電話10円/3分 携帯電話19円/1分 050（IP）電話13円/3分	
付添ベッド		1日につき	275円（税込）	
室料	特別室S	1日につき	23,100円（税込）	内訳）ユニットトイレ・ユニットシャワー・洗面台・ソファ・テーブル・チェア・アメニティグッズ（入院初日）
		（A棟）□A東6病棟　A東676号室（1床）		
	特別室A	1日につき	8,800円（税込）	内訳）ユニットトイレ・ユニットシャワー・洗面台
		（F棟）□F2病棟　F208号室（1床）F209号室（1床）F212号室（1床）F213号室（1床） □F3病棟　F315号室（1床）F316号室（1床）F317号室（1床）F318号室（1床） □F4病棟　F401号室（1床）F402号室（1床）F416号室（1床）F417号室（1床）F418号室（1床）F419号室（1床） □F5病棟　F506号室（1床）F508号室（1床）F509号室（1床）F510号室（1床）F511号室（1床）F512号室（1床） F513号室（1床）F515号室（1床）F516号室（1床）F517号室（1床）F518号室（1床） □F6病棟　F601号室（1床）F602号室（1床）F603号室（1床）F604号室（1床）F605号室（1床）F606号室（1床） F610号室（1床）F616号室（1床）F617号室（1床）F618号室（1床）F619号室（1床）F620号室（1床） F621号室（1床） □F7病棟　F711号室（1床）F712号室（1床）F715号室（1床）F716号室（1床）	
室料	特別室B	1日につき	7,700円（税込）	内訳）トイレ・洗面台
		（A棟）□A東4病棟　A東476号室（1床） □A西4病棟　A西458号室（1床） □A東5病棟　A東578号室（1床）A東579号室（1床） □A西6病棟　A西658号室（1床）A西659号室（1床） □A東7病棟　A東774号室（1床）A東775号室（1床）A東776号室（1床）A東777号室（1床）A東778号室（1床） A東780号室（1床） □A西7病棟　A西757号室（1床） （B棟）□B4病棟　B432号室（1床） □B6病棟　B601号室（1床）B615号室（1床）		
	特別室C	1日につき	5,500円（税込）	内訳）洗面台
		（A棟）□A東3病棟　A東376号室（1床）A東377号室（1床） □A東4病棟　A東482号室（1床） □A西4病棟　A西457号室（1床）A西459号室（1床）A西462号室（1床） □A東5病棟　A東582号室（1床）A東583号室（1床） □A西5病棟　A西553号室（1床）A西554号室（1床）A西561号室（1床）A西562号室（1床） □A西6病棟　A西654号室（1床） （B棟）□B6病棟　B604号室（1床）B605号室（1床）B606号室（1床）B607号室（1床）		
	※個室使用料は1日分の料金とする（21:00以降の入室については徴収なし）			
救急中毒スクリーニングのキット料		1キットにつき	4,400円（税込）	
セカンドオピニオン		30分以内	11,000円（税込）	
		30分～1時間	22,000円（税込）	
開示文書の写し		1枚につき	22円（税込）	
おむつ代		1枚につき	19円～135円（税込）	
コピー代		1枚につき	22円（税込）	
CD-R画像コピー代		1枚につき	2,200円（税込）	
診察カードの再発行		1枚につき	110円（税込）	
紙スリッパ		1足につき	220円（税込）	
シャンプー（1.頭髪用　2.全身用）		各1本につき	55円（税込）	
床頭台　合鍵作成料			440円～2,200円（税込）	
死後処置料			5,500円（税込）	
死後処置料（寝衣込み）			8,800円（税込）	
子宮内フローラ検査（先進医療）			40,000円（非課税）	
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術（先進医療）			21,000円（非課税）	
膜構造を用いた生理学的精子選択術（先進医療）			27,000円（非課税）	
抗ネオセルフβ2グリコプロテインⅠ複合体抗体検査（先進医療）			30,000円（非課税）	
診療録開示料金			5,500円（税込）	

2）診断書・証明書等

文書 内容	単位	金額	備考
一般診断書	1通につき	3,300円（税込）	
入院（手術）証明書	1通につき	7,700円（税込）	
通院証明書	1通につき	2,200円～3,300円（税込）	
おむつ証明書	1通につき	1,100円（税込）	
診療費（医療費）領収証明書	1通につき	1,100円（税込）	
分娩費（医療費）領収証明書	1通につき	1,100円（税込）	
助産費支給申請書	1通につき	1,100円（税込）	
出産手当金申請書	1通につき	1,100円（税込）	
自賠責保険診断書	1通につき	7,700円（税込）	
自賠責保険明細書	1通につき	5,500円（税込）	
死亡診断書	1通につき	6,600円（税込）	2通目より半額 2,750円（税込）
障害診断書	1通につき	8,800円（税込）	
身体障害者証明書	1通につき	8,800円（税込）	
後遺症診断書	1通につき	8,800円（税込）	
厚生年金診断書	1通につき	10,450円（税込）	
国民年金診断書	1通につき	10,450円（税込）	
所得補償保険診断書	1通につき	11,000円（税込）	
休業補償共済給付金申請書	1通につき	5,500円（税込）	
難病法診断書（初回）	1通につき	6,600円（税込）	
難病法診断書（継続）	1通につき	6,600円（税込）	
難病法 特発性間質性肺炎（初回）	1通につき	7,150円（税込）	
難病法 特発性間質性肺炎（継続）	1通につき	6,600円（税込）	

3）予防接種

予防接種 内容	単位	金額	備考
インフルエンザ（大人）：1回接種	1回につき	4,100円（税込）	
インフルエンザ（小人）：2回接種	1回につき	2,800円（税込）	
経鼻弱生インフルエンザ	1回につき	8,800円（税込）	小児科のみ
新型コロナウイルス	1回につき	16,500円（税込）	
新型コロナウイルス（助成・札幌市在住65歳以上）	1回につき	7,800円（税込）	
MRワクチン（風しん+麻しん混合）	1回につき	9,900円（税込）	
風しん	1回につき	7,150円（税込）	
麻しん（はしか）	1回につき	6,050円（税込）	
おたふく	1回につき	6,600円（税込）	
水痘（一般）	1回につき	9,350円（税込）	
水痘（帯状疱疹予防：助成・札幌市在住65歳以上）	1回につき	4,500円（税込）	
肺炎球菌（ニューモバックス）	1回につき	7,150円（税込）	
小児用肺炎球菌（プレベナー）	1回につき	9,900円（税込）	
二種混合	1回につき	4,400円（税込）	
三種混合	1回につき	6,940円（税込）	
五種混合	1回につき	21,450円（税込）	
帯状疱疹	1回につき	23,100円（税込）	
A型肝炎	1回につき	17,160円（税込）	
B型肝炎	1回につき	5,500円（税込）	
RSウイルス（アブリスボ筋注）	1回につき	34,320円（税込）	妊婦のみ
RSウイルス	1回につき	28,600円（税込）	
ヒブワクチン	1回につき	9,460円（税込）	
日本脳炎（ジェービック）	1回につき	6,380円（税込）	
ダニ媒介性脳炎ワクチン	1回につき	15,400円（税込）	
髄膜炎菌	1回につき	26,640円（税込）	
子宮頸がん（ガータシル）	1回につき	16,500円（税込）	
HPV（9価）	1回につき	30,000円（税込）	婦人科のみ
狂犬病	1回につき	16,500円（税込）	
破傷風	1回につき	1,606円（税込）	
不活化ポリオワクチン（イモバックス）	1回につき	8,910円（税込）	
ロタウイルスワクチン（ロタテック内服液）	1回につき	9,020円（税込）	

○DPC 対象病院の掲示事項

当院は DPC 対象病院です。
入院医療費は、包括・出来高評価を組み合わせて包括部分に医療機関別係数を乗じて計算して算定します。

医療機関別係数　1.6253（①＋②＋③＋④）

①基礎係数　　：1.0769
②機能評価係数Ⅰ：0.4306
③機能評価係数Ⅱ：0.0982
④救急補正係数　：0.0196

○「個別診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

当院では、医療の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行することとしています。
また、公費負担医療の受給者で自己負担のない方についても明細書を無料で発行することとしています。
明細書には、保険請求を行った薬剤の名称や検査の名称が記載されております。明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にその旨お申し出ください。

○入院時食事療養費・入院時生活療養について

当院は入院時食事療養費（Ⅰ）の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適温で（夕方については午後６時以降)、適温で提供しております。

各種施設基準等に係る掲示事項

電子的診療情報連携体制整備加算（歯科含む）に係る掲示について

１．オンライン請求の実施
当院は診療報酬明細書（レセプト）のオンライン請求を行っています。

２．オンライン資格確認体制の整備
マイナンバーカードによる健康保険証（マイナ保険証）を通じて、患者さんのオンライン資格確認を行う体制を有しています。

３．診療情報の取得・活用
オンライン資格確認により取得した診療情報（受診歴、薬剤情報、特定健診情報、その他必要な情報）を、医師が診察室等で閲覧・活用できる体制を整え、質の高い医療の提供に努めています。

４．電子処方箋の発行
電子処方箋を発行する体制を整備しています。

５．電子カルテ情報共有サービスの活用について
電子カルテ情報共有サービスを活用するため準備しております。

６．マイナ保険証利用の促進
マイナ保険証の利用を促進し、医療 DX を通じた質の高い診療提供を目指しています。

上記について、院内掲示、および当院ホームページにも掲載しております。

院内トリアージ実施体制加算に係る掲示

当院救急外来では看護師によるトリアージを行っております。
トリアージとは患者さんを重症度に応じて振り分け、より重症な患者さんから優先して診察していく方式です。早急に診療が必要な重症な患者さんが、長時間待つことなく、診療が受けられることになります。
軽症の患者さんは診察の順番がかわり、待ち時間が長くなる場合もありますので予めご了承願います。

がん性疼痛緩和指導管理加算に係る掲示

当院には、がん性疼痛の緩和を目的とした放射線治療および神経ブロックを実施できる体制がございます。
適応となる場合は、患者さんまたはご家族が、治療について理解し納得した上で選択できるように文書を用いて説明させていただきます。

処置・手術の休日加算 1, 時間外加算 1 及び深夜加算 1 に係る掲示

当院では静脈採血、静脈注射又は留置針によりルート確保が実施可能な医師以外の職員を病棟ごとに常時 1 名以上配置しています。

後発医薬品の使用促進について

当院では、後発医薬品※の使用を積極的に進めるとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しております。現在、一部の医薬品について十分な供給が難しい状況が続いていますが、医薬品の供給が不足した場合でも、医薬品の処方を変更する等、適切な対応ができる体制を整備しております。
なお、状況によっては、投与する薬剤が変更となる可能性がございます。変更にあたってはご説明をさせていただきます。ご不明な点やご心配なことなどがございましたら、主治医又は薬剤師にお尋ねください。

※後発医薬品とは
先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ成分をもつ医薬品のことです。医薬品の開発に要する費用が少なく済むため、先発医薬品に比べ安価であり、使用することで医療費を抑えることが期待できます。

一般名処方について

当院では、後発医薬品の使用を積極的に進めるとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。現在、一部の医薬品について十分な供給が難しい状況が続いています。後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方を行う場合があります。一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さまに必要な医薬品が提供しやすくなります。

バイオ後続品の使用促進について

当院では、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に資するものとして後発医薬品及びバイオ後続品※（バイオシミラー）の使用を積極的に進めています。
医薬品を採用する場合は、有効性や安全性だけでなく、生産量や供給体制等の情報を収集・評価し決定しています。現在、一部の医薬品について十分な供給が難しい状況が続いていますが、医薬品の供給が不足した場合でも、医薬品の処方を変更する等、適切な対応ができる体制を整備しております。なお、状況によっては、投与する薬剤が変更となる可能性がございます。変更にあたってはご説明をさせていただきます。 ご不明な点やご心配なことなどがございましたら、主治医又は薬剤師にお尋ねください。

※バイオ後続品とは
遺伝子組換え技術などにより細胞、酵母、細菌などから産生されるタンパク質由来の医薬品である「バイオ医薬品」の特許が切れた後に、他の製薬企業から発売される先行品と同等の品質・安全性・有効性を有する医薬品です。

長期収載品の選定療養について

2024 年度診療報酬改定において、長期収載品について、保険給付の在り方の見直しを行うこととなり、選定療養の仕組みが導入されます。2024 年 10 月以降、先発医薬品（長期収載品※）での調剤を希望される患者さまには選定療養費をいただく場合がございますので、予めご了承ください。また、状況によっては、投与する薬剤が変更となる可能性がございます。変更にあたってはご説明をさせていただきます。ご不明な点やご心配なことなどがございましたら、主治医又は薬剤師にお尋ねください。

※長期収載品とは
「長期収載品」は、後発医薬品のある先発医薬品を指します。具体的には、特許が切れているか再審査期間が終了しており、同じ効果を持つ後発医薬品（ジェネリック医薬品）が発売されている薬です。2024 年 10 月から、医療上の必要性がないにもかかわらず、患者が「後発医薬品でなく先発品（長期収載品）を使いたい」と希望した場合には、両者の差額の 4 分の 1 を患者自身が負担する仕組み（選定療養）が導入されます。この制度により、医療機関と薬局は、長期収載品の投与に係る特別の料金その他必要な事項を院内掲示することも求められています。なお、医師が医療上の必要性により銘柄名処方した場合や、薬局に在庫がない場合などは引き続き保険給付の対象となります。
改めまして患者さまご理解とご協力をお願い申し上げます。ご不明な点等がございましたら遠慮なく当院職員にお尋ねください。

コンタクトレンズ検査料に係る掲示

コンタクトレンズ装用のための受診に係る費用等については以下のとおりです。

〇初診料　　２９１点
〇外来診療料　　７６点
〇コンタクトレンズ検査料Ⅰ　２００点

※過去に当院でコンタクトレンズ検査料の算定がある場合、外来診療料での算定となります。

〇診療医氏名

・坂口　貴鋭　　眼科診療経験　２００２年～
・七戸　夏子　　眼科診療経験　２００３年～
・田中　孝幸　　眼科診療経験　２０１６年～
・秦　雅貴　　眼科診療経験　２０２１年～
・有田　拓矢　　眼科診療経験　２０２０年～
・田中　友貴　　眼科診療経験　２０２１年～
・鈴木　康夫　　眼科診療経験　１９８５年～
・勝田　聡　　眼科診療経験　１９９４年～

上記につきまして、ご不明な点がございましたら職員までお問い合わせください。

歯科外来診療医療安全対策加算に係る掲示

当院は、患者さんにとって安心で安全な歯科医療の提供を行うにつき、以下の装置・器具を設置しております。

・自動体外式除細動器（AED）
・経皮的動脈血酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）
・酸素（人工呼吸・酸素吸入用のもの）
・血圧計
・救急蘇生セット

また、診療における偶発症等緊急時に円滑な対応ができるよう、併設医療機関の救急科を含む別診療科と事前の連携体制が確保されております。

地域歯科診療支援病院歯科初診料に係る掲示

当院では、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、スタッフのひとりひとりが院内感染防止対策の徹底に取り組んでおります。目に見えない菌やウイルスからの感染を防ぐため、使用する治療機器は患者さん毎に洗浄・消毒・滅菌を実施しております。

ハイリスク分娩管理加算に係る掲示

産婦人科医師数：　１６　名　（２０２６年４月１日現在）
助　産　師　数：　３９　名　（２０２６年４月１日現在）
分　娩　件　数：　４５０　件　（集計期間：２０２５年１月～１２月）

通院でがん薬物療法を受けられる方へ

当院は、がん治療にかかる医師、薬剤師、看護師、栄養士をはじめとした医療チームが連携し、患者さんに行なわれるがん薬物療法に関して、専門の委員会を設置し、安全・安心そして、最善の治療について検討しています。

がん治療中における体調不良などの対応は、平日・日中は各診療科外来で、夜間・土日祝日は、まずは救急外来（365日、24時間体制）が対応いたします。

緊急入院が必要となった場合には、すみやかに入院できる体制を整えております。

医療法人 溪仁会
手稲溪仁会病院

医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術件数

集計期間:　　2025年(令7年)1月　～　　2025年(令7年)12月

区分	手術分類		件数
区分1	ア	頭蓋内腫瘤摘出術等	46
	イ	黄斑下手術等	443
	ウ	鼓室形成手術等	8
	エ	肺悪性腫瘍手術等	23
	オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術	429
区分2	ア	靱帯断裂形成手術等	27
	イ	水頭症手術等	69
	ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
	エ	尿道形成手術等	0
	オ	角膜移植術	0
	カ	肝切除術等	117
	キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	6
区分3	ア	上顎骨形成術等	2
	イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	4
	ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	4
	エ	母指化手術等	1
	オ	内反足手術等	0
	カ	食道切除再建術等	11
	キ	同種死体腎移植術等	0
区分4	ー	胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術（通則４に掲げる手術を除く。）	1,549
区分その他	ア	人工関節置換術	109
	イ	乳児外科施設基準対象手術	0
	ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	166
	エ	冠動脈・大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術	227
	オ	経皮的冠動脈形成術	
		急性心筋梗塞に対するもの	58
		不安定狭心症に対するもの	11
		その他のもの	35
		経皮的冠動脈粥腫切除術	0
		経皮的冠動脈ステント留置術	
		急性心筋梗塞に対するもの	1
		不安定狭心症に対するもの	39
		その他のもの	183